

講義名	経済特殊演習		
講義コード	33502	授業形態	
担当教員	仲間 瑞樹	開講期・曜日・時限	通年 水曜日 3時限

学部・学科	演習分野
大学院流通科学研究科	経済理論

概要説明

この経済特殊演習は、2期間世代重複モデルを利用して、実証分析ではなく、理論に基づく公共経済分野の博士論文を執筆する大学院生に絞られた、限定された演習である。修士課程レベルすなわち上級レベルのミクロ経済学、マクロ経済学、公共経済学、経済数学の知識を前提とする。したがって本演習では、これらの分野に関する講義を一切行わないので注意すること。

教員が受講生に対して講義をする形式の演習ではない。毎回、受講生が教員に対してプレゼンテーションを行い、教員から内容についてフィードバックを受け、次のプレゼンテーションに備える形式の演習である。教員からの指示を待ち、受け身で指導を受ける姿勢では、博士論文は執筆できない。自分で博士論文の構成、論文などを考え、それらを教員に発表してフィードバックを受け、モデルや論文を改善してゆくといった自立した姿勢をもつ受講者でなければ本演習には耐えられないので十分注意すること。

本演習では、以下の2点を繰り返してゆく。

受講生は自身で、自身が執筆する博士論文に関連する英語論文（世代重複モデルの論文）発表をする。
 受講生は自身で作成した理論モデルの発表、ならびにモデルを解いた結論を発表する。

以下では、15回の講義サイクルを念頭に講義計画などを記す。

第1回目から第7回目まで
 受講生による博士論文に關係する関連英語論文の発表
 （発表準備に最低2時間、教員からのフィードバックを受けて次回の発表の準備に最低2時間）

第8回目から第15回目まで
 受講生による博士論文を構成する各論文の中核となる理論モデルの構築とモデルを解く作業及び発表
 （発表準備に最低2時間、教員からのフィードバックを受けて次回の発表の準備に最低2時間）

主な卒業論文のタイトル

博士課程所属大学院生がいないため、論文タイトルの紹介はできない。

教員よりの要望

受け身ではない、指示を待つのではなく、自分で考えて、理論モデルを自身で構築し、それを自力で解く計算力が必要です。

選考方法

大学院入試による選抜

評価方法
<ul style="list-style-type: none"> 出席 講義回数の三分の一以上を無断で欠席した場合、不合格とする。 発表 以下について評価します。 毎回の発表に新しい報告内容が含まれているか否か。（30%） 自身の手で自身のアイデア、独創性を盛り込んだ理論モデルを構築し、自力でモデルを解いているか否か。 自身で構築した理論モデル、モデルの解について、経済学的な意味、含意を説明できているか否か。（30%）

教員英字氏名	研究室
NAKAMA MIZUKI	研究棟 6階2604

最終学歴
大阪大学大学院経済学研究科博士課程後期中途退学

学位
博士（経済学）

主な研究活動・社会活動・研究業績

2期間世代重複モデルに基づく公共経済の分析
 最近の論文
 仲間瑞樹(2024)「土地を含む2期間世代重複モデルでの相続課税政策」、流通科学大学論集・経済・情報・政策編、pp.1-16.

趣味・特技

所属
経済学部経済学科

所属学会
日本財政学会 日本経済政策学会

専門分野
経済理論（ミクロ経済学）、公共経済学、財政学

担当科目
大学院担当科目として 経済学特論 経済演習 経済特殊演習

備考

実務経験の有無及び活用
実務経験なし